

◆◆♪ちょち ちょち あわわ かいぐりかいぐり とっとのめ～ とっとタイム～は
じまるよ～♪

◆みなさんこんにちは。ほ・ねっとひろばの《とっと》です。前は、お腹の中にいる赤ちゃんから、生後3か月くらいの赤ちゃんとの関わり方や、子育てのちょっとしたヒントをお話ししながら、わらべうたを紹介しました。今回は、3か月くらいの赤ちゃんから6か月くらいまでの赤ちゃんの関わり方を紹介したいと思います。もう首は座ってきましたか？腹ばいにしてあげると、少しの間首をしっかり持ちあげられるようになってきていませんか？顔の表情も豊かになってきていますよね。いつもそばにいる人の声をしっかり把握して、泣いていても声を掛けると、泣き止んだりします。コロンと寝返りをするようになると「○○ちゃん」と名前を呼ばれた方に顔を向けるようになり、子どもとのやり取りがより一層楽しくなります。そして、関心のあるおもちゃに手を伸ばしたり移動しようとしたり、這い這いの準備が始まります。腹ばいになって顔や手足を持ち上げ飛行機のような姿から、お腹を中心に体の横にあるものを取ろうとして体をひねり、くるくる回るピポットターンをし、後ずさりが始まります。それから、足の指も使って前へ進むという行程があります。お子さんと同じように腹ばいになり同じ格好になって声を掛けてみてください。目と目が合うとかわいい笑顔に出会えますよ。

そしてこの時期にじっくりお子さんを観察してみてください。興味を満たすために移動したり、手を伸ばすので、どんなものが好きなのかが分かります。好きなものを自ら見つけ、そこに向かって体を動かすことで興味・関心を広げるという心の力が育ちます。

「いないいないばあ」も、この時期にやってあげると楽しいですよ。

オーガンジーなどの乾いた薄い布を、頭や顔にかけ、いないいないばあと共に布を取ります。これも、最初はゆっくりと、様子を見ながら行い、怖がらないようなら、布をかけておく時間を長くしたり、布の取り方を早くしたりすると、お子さんも様子が分かり楽しめるようになります。4か月くらいになると、自ら布を取ろうとする姿が見られます。「いないいない…ばあ～」「いないいない…ばあ～」

もっともっと大きくなって、たっちで歩けるようになると、物の陰に隠れていないいないばあができ、さらに大きくなるとかくれんぼにもつながります。お母さんはいつも見守っているよ。という安心感が育ち、いつ見つけてくれるかな？というワクワク感に変わる関わり遊びですね。

では、今回もこの時期に楽しめる、わらべうたを紹介したいと思います。

お姉さんお願いします。

◆はい。

◆まず、お子さんを抱っこします。まだしっかり首が座っていない場合は首を支えてあげます。少し大きくなったら、横抱きでも大丈夫です。わらべうたを歌いながら、はじめは、そ～と揺らします。

◆◆♪このこ どここのこ かっちゃんこ♪ ♪このこ どここのこ かっちゃんこ♪

◆お子さんの表情を見ながら、そとと揺らし、段々慣れてきたり、5～6か月ぐらいいになったお子さんでしたら、揺らし方を大きくするなど変化をつけます。あくまでも怖がらせるのではなく、ゆったり優しく、時に楽しく。ではもう一度やってみます。少し早くしますよ。

◆◆♪このこ どここのこ かっちゃんこ♪ ♪このこ どここのこ かっちゃんこ♪

◆いかがでしたか？今回は3か月から6か月ぐらいのお子さんとの関わり方と、わらべうたでした。次回は、6か月ぐらいのお子さんから、9か月ぐらいのお子さんとの関わり方と、わらべうたや関わり遊びを紹介したいと思います。楽しみにしていてくださいね。

◆◆では♪さよならあんころもちまたきなこ♪ばいばい。ほ・ねっとひろばにあそびに来てね。まってま～す。

ほ・ねっとひろば